

別記第5号様式

番号	体験の機会の中で行う事業に従事する者の氏名	役割	知識及び経験に関する説明 (※1)		経験等の有無 (※2)	指導方法 (※3)
			○年 ○年～○年	○○大学○○科卒業 ○○事業のプログラム実施		
1	○○ ○○	全体総括	○年 ○年～○年	○○大学○○科卒業 ○○事業のプログラム実施	◎	
2	×× ××	会計, 経理	○年	○○資格の取得	○	
3	△△ △△	プログラム実施	○年	○○事業のプログラム実施	◎	
4	□□ □□	プログラム実施補助			×	(例えば「番号3の者の指導の下実施する」)
5						

備考

- ※1 体験の機会の中で行う事業に関係する経験や学歴等を記載する。※2の分類の根拠がわかるように記載する。支援事業と無関係の学歴、職歴、経験は記載不要。
- ※2 施行規則第8条第1項第6号の「認定の申請に係る体験の機会の中で行う事業に一年以上従事した経験を有する者若しくはこれと同等以上の知識及び技能を有する者」に該当するかどうか、以下の分類で記載する。
- ◎ 省令第8条第1項第6号に規定する者の場合
 - 省令第8条第1項第6号に規定する「これと同等以上の知識及び技能を有する者」に該当する場合
 - × ◎及び○以外の者の場合
- ※3 ※2が「×」の場合、省令第8条第1項第6号の「指導の下に適切に行われるもの」に相当する指導の方法を記載する。
- ※4 既存の書類がある場合は、その提出に代えることができる。